

事業報告（総括）

令和元年度は、新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンに合わせ観光コンテンツの充実を図ったほか、誘客促進として、国内は、首都圏や定期航空路就航地を対象に、国外はアメリカ・オーストラリア等を対象に広域連携を基軸に活動しました。

また、MICEにおいては、G20農業大臣会合、第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会が開催され、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催等を踏まえながら、新潟市文化・スポーツコミッションと連動し誘致活動を実施しました。

◎令和元年度に取り組んだ3つの柱

1. 「食と花と酒」「みなとまち文化」「豪農文化」を活かした観光コンテンツの充実

新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンに合わせ、関係機関と連携し地域資源を活用した観光コンテンツの充実を図り、観光資源を生かした着地型旅行商品や、古町芸妓を気軽に体験できる団体および個人向け商品を企画・実施しました。

2. 都市の拠点性を活かした広域的な連携による国内外からの誘客

国内においては、関係機関と連携し首都圏での観光PR等を実施したほか、定期航空路就航地の旅行会社等へ、新潟の拠点性や観光情報を提供し、各地からの誘客促進を図りました。

国外においては、今後伸びが期待できるアメリカ、ハワイ、オーストラリアからの誘客に重点的に取り組みました。また、他地域と連携し魅力ある広域観光ルート等を構築し、観光誘客に積極的に取り組みました。

3. コンベンション関係機関や新潟市文化・スポーツコミッションと連携した「MICE」誘致の推進

本市の都市機能や開催環境の優位性をPRし、関係機関と連携しMICE誘致に積極的に取り組みました。

また、新潟市文化・スポーツコミッションと連携し、2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致をはじめとした、文化・スポーツイベントの誘致活動を実施しました。

公益目的事業

I 観光事業

78,434,499円

1. 観光PR事業

(1) 情報発信事業

3,953,064円

新潟市観光情報サイト「Welcome to Niigata City」の日本語版、及び外国語版（5言語6表記：英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、ロシア語、フランス語）の管理・更新を行った。

- ・訪問数：752,000（前年度 600,605）
- ・ページビュー数：1,247,406（前年度 1,084,514）

新潟市の観光に関する画像データをサイトで公開し、新潟へのツアーを造成する旅行会社や各種メディア、印刷会社等に無料で貸し出し、新潟市を広くアピールした。また、観光写真などを投稿するインスタグラムアカウントを運営し、新たに657名のフォロワーを獲得した。

- ・フォトライブラリー貸出件数：690件（前年度 651件）
- ・インスタグラムフォロワー数：1,393名（前年度 736名）

(2) 広告展開事業

4,403,064円

新潟市の観光の魅力を発信し、県内外からの誘客を促進するため、マスメディアへの広告出稿を行った。また、新潟の魅力を対外的にアピールするため、セールス等で配布するプロモーションツールを作成した。

<広告関連>

- ・月刊にいがた別冊「新潟観光いいところどり」
- ・昭文社まっぷる「新潟・佐渡 2019-2020」
- ・WEBプロモーション「じゃらんnet ふるさとキャンペーン」
- ・荘内日報「敬天愛人2月号」

<プロモーションツール>

- ・シャープペンシル 1,000本
- ・新潟開港150周年ポストカード 475組
- ・クリアファイル 3,000枚
- ・新潟柳都古町芸妓2020年版カレンダー 300本

(3) にいがた観光親善大使派遣事業

4,631,021円

第10代にいがた観光親善大使を選出し、日本開港五都市交流をはじめ、県内外での観光キャンペーンや新潟市で開催されるコンベンション等で新潟市の観光PRを行った。

<選出事業>

応募者数：52人（男性：1人 女性51人）（前年度 31人）

予選会 実施日：令和元年5月18日（土）

会場：朱鷺メッセ

本選会 実施日：令和元年5月23日（木）

会場：万代シルバーホテル

<派遣事業>

件数：72件（前年度 106件）

(4) 日本開港五都市観光交流事業

896,922円

日本開港五都市（函館・横浜・神戸・長崎・新潟）観光協議会に参加し連携を深めた。また各都市のまつりに、にいがた観光親善大使を派遣し、新潟のアピールに努めた。

<日本開港五都市観光協議会幹事会>

新型コロナウイルスの影響により開催中止

<開港都市みなとまつり> 日程は大使派遣日

長崎帆船まつり（4/20～22）

ザ・よこはまパレード（5/2～3）

神戸まつり（5/19～20）

函館港まつり（8/2～3）

<新潟まつり>

8/9：市長表敬、民謡流し、歓迎レセプション

8/10：キラキラパレード、市内観光

2. 観光誘客事業

(1) 食と花の交流プログラム推進事業

2,008,388円

新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンに合わせ、オープントップバス「宙バス」を利用した着地型旅行商品の運行コース企画に加わるとともに、みなとまち新潟の歴史や食文化の魅力を活かしたコース運行に対し協賛を行った。

<宙バス運行実績>

・運行月 10月～12月

・運行本数 46本

・乗車人数 312人（市内144人、県内71人、県外77人、不明20人）

(2) みなとまち新潟観光推進事業**9,822,247円**

新潟古町芸妓を観光資源と捉え、団体向け着地型プラン「新潟古町芸妓の舞鑑賞」、及び個人向け鑑賞プラン「新潟花街茶屋」の企画、実施、販売を行った。

<古町芸妓の舞鑑賞ツアー参加状況>

年度	古町芸妓の舞（団体）				花街茶屋（個人）				
	参加者数	実施回数	国内	海外	参加者数	実施回数	市内	市外	海外
H29年度	1,535人	73回	53.4%	46.6%	498人	20回	25.2%	70.6%	4.2%
H30年度	1,083人	59回	54.2%	45.8%	481人	19回	57.0%	33.6%	9.4%
R1年度	1,804人	80回	60.0%	40.0%	561人	23回	32.4%	50.8%	16.8%

(3) 国内プロモーション・セールス事業**629,415円**

新潟県・庄内エリアdestinationキャンペーン本番を迎え、地元関係者と連携し観光誘客を目的として「古町芸妓の舞」鑑賞に加え、新潟の魅力ある観光を中心としたセールスを実施したほか、観光物産展などに参加し観光PRを行った。

- ・セールス、商談会：4回
- ・観光PR展：8回

(4) 国内航空路集客事業**7,796,362円**

新潟空港と定期路線で結ばれている国内5都市からの誘客を図るため、助成金制度を活用しながら各地域の旅行会社へのセールス活動を行った。

<旅行会社訪問>

- ・札幌：3回
- ・名古屋：2回
- ・大阪：1回
- ・福岡：2回
- ・東京：2回
- ・沖縄：1回

<旅行会社招請>

- ・沖縄ツアーリスト株式会社
- ・ANAセールス株式会社

<空路誘客施策実施結果>

航空旅行商品新潟市宿泊報奨金

	R01 年度 (人泊)	H30 年度 (人泊)	対前年度比	
			増減 (人泊)	比率
上期 (4月～6月)	3,217	3,325	△108	96.8
下期 (12月～2月)	1,921	2,464	△543	78.0

(参考) 新潟空港利用状況

	R01 年度		対前年度比	
	利用者数 (人)	利用率 (%)	増減 (人)	比率 (%)
札幌線	159,350	64.2	△1,076	99.3
成田線	34,690	65.0	△850	97.6
名古屋線	104,943	62.3	1,283	101.2
大阪線	561,010	67.3	△6,876	98.8
福岡線	114,964	69.9	△5,102	95.8
沖縄線	37,276	49.6	△673	98.2
臨時・チャーター	5,989	61.1	1,182	124.6
合計	1,018,222	65.6	△12,112	98.8

国内定期路線を利用し、新潟市または佐渡市に宿泊する旅行商品に対し、広告宣伝費、パンフレット印刷費等の助成を行い旅行会社の商品造成促進を図った。

<新潟・佐渡旅行商品奨励金>

- ・令和元年度 7件 : 1,173,690円
- ・前年度 12件 : 1,927,316円

(5) 訪日外国人集客事業

8,677,625円

国のビジット・ジャパン事業や新潟県国際観光テーマ地区推進協議会事業、新潟市の誘客事業等との連携、更に当協会と市内宿泊施設との協働誘客活動として、海外の旅行会社に新潟の拠点性や観光情報を提供し、旅行商品の企画造成を促進させるなど、外国人観光客入込客数、宿泊者の拡大を図った。

<セールスコール>

- ・アメリカ本土及びハワイ : 2回
- ・アメリカ本土 (Food Expo 出展) : 1回
- ・オーストラリア : 2回
- ・韓国 (ソウル) : 2回

<商談会など>

- ・新潟県観光協会主催台湾商談会 (新潟) : 1回
- ・JNTO 主催トラベルマート (大阪) : 1回

<海外旅行会社招請事業>

- ・アメリカ本土及びハワイ：1回
- ・アメリカ本土（単独）：1回
- ・ハワイ（単独）：1回
- ・イギリス（日本支店）：2回
- ・オーストラリア：4回（うち1回は教育旅行誘致を目的に高校教員6名を招請）
- ※その他、日本旅行（東京）のアメリカ・オーストラリア担当者6名を招請

<広域連携事業> ※実績は上記に含む

- ・「みなかみ連携」：みなかみ町観光協会、佐渡観光交流機構と連携し、オーストラリアからの誘客推進を図った。
- ・「長野連携」：長野県観光機構、佐渡観光交流機構と連携し、アメリカ本土及びハワイからの誘客推進を図った。

(参考) 外国人延べ宿泊者数

年	R01年(人)	H30年(人)	対前年比	
			増減(人)	比率(%)
新潟市	92,428	77,007	15,421	120.0
新潟県	448,150	404,900	43,250	110.6

(参考) 新潟空港国際線利用状況

	R01年度		対前年度比	
	利用者数(人)	利用率(%)	増減(人)	比率(%)
ソウル線	31,381	69.5	△10,554	74.8
ハルビン線	38,731	64.8	△173	99.6
上海線	15,164	62.4	△3,084	83.1
台北線	15,094	58.2	△20,594	42.3
香港線	13,195	65.2	13,195	-
定期計	113,565	64.8	△21,210	84.3
チャーター便	(50便) 5,904	71.0	(24便) 4,359	382.1
国際計	119,469	65.0	△16,851	87.6

新潟市に宿泊し県内外の観光地を周遊する貸切バスの経費の一部補助と、新潟空港からのスキーバスの運営体制の整備、経費の一部助成を行い韓国・台湾からの誘客増進を図った。

<団体貸切バス借上げ費一部補助事業>

- ・補助件数：ハワイ1団体、12人(24人泊)(前年比3.0%)
- ※貸切バス助成金は県の補助制度も活用した。

<不定期路線バス(スキーバス)運行補助事業>

- ・妙高・赤倉地区～新潟市内ルート：往復計 0台/0人利用
- ・湯沢・苗場地区～新潟市内ルート：往復計 25台/145人利用
- 利用者計145人(前年比84%)
- 人泊計372人泊(前年比96%)

※少雪と新型コロナウイルスの影響により3月の利用が減少した。

(6) 旅行商品造成報奨金交付事業**13,496,340円**

外国人観光客の新潟市内宿泊誘致促進のため、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会の報奨金制度（中国・台湾・韓国・ロシアの4ヶ国対象）への上乗せ及び、左記の4カ国以外には新潟市単独で、それぞれ旅行商品造成報奨金（1,000円）を交付した。また、報奨金交付制度を現地旅行会社に紹介し、各国から新潟への旅行商品の造成を促進した。

<交付実績>

国名	R01年度 実績	H30年度 実績	対前年度比	
			増減	比率
台湾	5,806人泊	9,471人泊	△3,665人泊	61.3%
中国	2,870人泊	2,676人泊	+194人泊	107.2%
香港	2,800人泊	0人泊	+2,800人泊	
韓国	538人泊	983人泊	△445人泊	54.7%
ベトナム	432人泊	0人泊	+432人泊	
タイ	157人泊	0人泊	+157人泊	
インドネシア	136人泊	0人泊	+136人泊	
ロシア	257人泊	366人泊	△109人泊	70.2%
アメリカ	208人泊	181人泊	+27人泊	114.9%
イギリス	40人泊	46人泊	△6人泊	87.0%
マレーシア	0人泊	120人泊	△120人泊	
シンガポール	0人泊	44人泊	△44人泊	
合計	13,244人泊	13,887人泊	△643人泊	95.3%

3. 観光客受入環境整備事業**(1) 新潟駅観光案内所等管理・運営事業****17,947,381円**

JNTO認定カテゴリ2の観光案内所として、国内外のお客様に新潟市および広域エリアの観光情報を提供した。また、観光案内の充実や職員のスキルアップを目的とした新潟市内及び県内各地の視察・研修を行い、来訪者の受入れ態勢整備を図った。

<新潟駅万代口観光案内センター 案内実績>

	案内人数	対前年度比	
		増減	比率
窓口	71,120人	△1,778人	97.6%
うち外国人	4,689人	△11人	99.8%
電話問い合わせ	450人	△49人	90.2%

<外国人案内実績>

国籍	案内人数	対前年度比	
1. 台湾	870人	△134人	86.7%
2. アメリカ	546人	+54人	111.0%
3. シンガポール	517人	+62人	113.6%
4. 香港	486人	+216人	180.0%
5. 中国	442人	+97人	128.1%
6. オーストラリア	230人	△67人	77.4%
7. 韓国	199人	△215人	48.1%
8. タイ	171人	△71人	70.7%
9. フランス	164人	+8人	105.1%
10. ドイツ	86人	+20人	130.3%
11. その他35ヵ国	978人	+19人	101.9%
合計	4,689人	△11人	99.8%

<視察・研修>

- ・新潟市内、阿賀野市、佐渡市、上越市、三条市、燕市、
JNTO認定案内所全国研修会（東京都）、ブロック別研修会（新潟市）

<手ぶら観光サービス>

- ・預かり数 67個（前年度 87個）

<外国人観光客向け施策>

- ・SADO-NIIGATA Pass（トキめき佐渡・にいがた観光圏）販売
- ・TIC TOKYOと県内各観光案内所とのネットワーク化
- ・インバウンド戦略構築のための外国人旅行者アンケートの実施

（2）地域内連携推進事業

567,470円

<機関誌「来夢来都」の発行>

賛助会員及びコンベンション主催者などに、新潟市及び周辺地域の観光とコンベンションに関する情報の提供と、協会の活動状況などを広報するための機関誌「来夢来都」を年4回発行した。

発行：年4回（4月、7月、10月、令和2年1月）

部数：8,000部（2,000部×4回）

(3) 地域魅力発見事業

1,363,382円

第68回新潟市観光写真コンクールを実施し、新潟市の観光振興に広く活用できる写真の募集・選出を行った。新たにWeb部門を開設し、参加者層の拡大を図った。併せて入賞作品展を開催し、新潟市の観光魅力の周知を行った。

応募人数 225人 (一般部門 63人・Web部門162人)
応募点数 659点 (一般部門 177点・Web部門482点) (前年度 338点)
選出作品数 42点

(4) 観光ガイドブック発行支援事業

1,562,000円

新潟市中心部の飲食店等を掲載した新潟シティ・グルメガイドブック「ようきなった」の作成に協力し必要部数を買取るとともに、コンベンション参加者や市内ホテル、関係各所へ配布し、食の街新潟のPRと来訪者の満足度向上に努めた。

(5) にいがた観光タクシー利用促進事業

131,006円

観光客に対するタクシーのサービス内容の向上を目的としたドライバーの現地研修や、観光タクシーに関わる広報・PRを実施し運行促進を図った。参加企業は、万代タクシー(株)、都タクシー(株)、第一タクシー(株)、三和第一交通(株)の4社。

- ・にいがた観光タクシー推進協議会 タクシードライバー研修会
視察先 北方文化博物館
開催日 9/17～9/20 (計4回実施) 参加者合計 88名

- ・広報・PRの実施
新潟シティ・グルメガイドブック「ようきなった」や新潟市観光ガイドブック「新潟市 旅手帳」に認定観光ドライバーがご案内するにいがた観光タクシーの情報を掲載。

(6) その他

548,812円

- <西堀大型バス駐車場 管理・運営>
 - ・利用台数 606台 (前年度 585台)

- <誘客イベント支援>
 - ・食と花の世界フォーラム新潟2019
 - ・日本海夕日キャンペーン
 - ・にいがた総おどり
 - ・にいがた春咲フェスタ
 - ・にいがた湊まち歴史ウォーク

1. コンベンション誘致事業

(1) コンベンションセールス事業

2,704,462円

<セールス>

地元新潟の学術機関（大学等）・各種団体支部への誘致活動、情報収集を行うとともに、首都圏へのコンベンション誘致セールス（延べ149カ所）を行った。

また、地方都市コンベンション関連団体加盟6地区合同ワークショップへブース出展や誘致セールス等を実施し、首都圏の主催者及び旅行エージェント等に対して新潟のコンベンション開催環境をPRするとともに、学会・大会・企業ミーティング開催情報の収集を行った。

地方都市コンベンション関連団体加盟合同誘致セールス

(新潟、松本、びわこ、和歌山、高松、長崎)

期 日：令和元年5月28日（火）

会 場：幕張メッセ

内 容：日本地球惑星科学連合所属学会員に対してセールス活動

期 日：令和元年7月16日（火）

会 場：ホテルグランドアーク半蔵門

内 容：首都圏のコンベンション主催団体63名に対してセールス活動

期 日：令和元年11月27日（水）

会 場：東京湾クルーズ・シンフォニー船内

内 容：首都圏のコンベンション主催団体59名に対してセールス活動

期 日：令和2年3月9日（月）

会 場：ホテルグランドアーク半蔵門

内 容：首都圏旅行会社法人担当者及びPCO向けの合同ワークショップ
新型コロナウイルスの感染拡大により開催中止

<キーパーソン招聘>

首都圏在住のコンベンション主催者を招聘し、朱鷺メッセ・市内ホテル・観光施設などを視察していただくとともに、当協会の支援制度などのプレゼンテーションを行い、新潟市内での開催を働きかけた。

視 察 者：国立極地研究所（3名）

視 察 日：令和元年9月9日（月）

視察箇所：朱鷺メッセ他

視 察 者：（一社）日本航空宇宙学会（4名）

視 察 日：令和元年10月29日（火）～30日（水）

視察箇所：朱鷺メッセ、NSCA共同工場、古町芸妓、燕三条地区他

視 察 者：（一社）電子情報技術産業協会（2名）

視 察 日：令和元年11月6日（水）

視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、ピアBandai他

視 察 者：日本核酸化学会（4名）
視 察 日：令和2年1月24日（金）
視察箇所：朱鷺メッセ他

<海外インセンティブツアー誘致>

令和元年11月11日（月）シンガポールでインセンティブツアーを取扱う旅行会社5社に対してセールスコールを実施。

令和元年11月12日（火）JNTO主催『シンガポール JAPAN MICE SEMINAR』に出展、バイヤー25社31名来場の中、全体プレゼンテーションを行うとともに、9社14名と商談を行った。

<国際ミーティングエキスポ出展>

コンベンション主催者との商談会「国際MICEエキスポ2020」に出展し、国際会議観光都市・新潟のコンベンション開催環境をPRするとともに、コンベンションの誘致に努める予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により直前に出展を取りやめた。

期 日：令和2年2月26日（水）

会 場：東京国際フォーラム（東京・有楽町）

主 催：日本コンGRES・コンベンション・ビューロー、日本政府観光局

参 考：商談アポイント10件

<セミナー・シンポジウム参加>

日本コンGRESコンベンションビューロー（JCCB）が主催する研修会・セミナー・シンポジウム等に参加し、コンベンションや観光に関する専門性の向上に努めた。

期 日：令和2年2月3日（月）～4日（火）

内 容：人材育成研修（東京）

会 場：JCCB事務局会議室（四ツ谷）国立科学博物館（上野）

<東北地区コンベンション推進協議会>

東北地区のコンベンションビューロー（青森・弘前・八戸・秋田・横手・盛岡・山形・庄内・米沢・気仙沼・仙台・福島・郡山・会津若松・新潟・長岡・上越）で構成される協議会に参加し、新潟及び東北地区の連携を強化するとともに、コンベンション誘致・支援に係る情報交換を行った。また首都圏で開催された東北地区合同のMICE誘致懇談会にブースを出展し、首都圏のコンベンション主催者へ東北・新潟でのコンベンション開催を呼びかけた。

・ 定例総会

期 日：平成元年7月4日（木）～5日（金）

会 場：ホテルメトロポリタン山形（山形市）

・ 職員研修会

期 日：令和元年10月24日（木）～25日（金）

会 場：福西本店（会津若松市）

・東北地区MICE誘致懇談会

期 日：令和元年12月12日（木）

会 場：都市センターホテル コスモホール

内 容：首都圏のコンベンション主催団体5団体8名と商談
来場者23団体、36名

2. コンベンション開催支援事業

(1) コンベンション開催補助金交付事業

28,772,039円

都市間のコンベンション誘致競争が激化する中で、補助金制度を効果的に活用しながら積極的な誘致活動を展開したが、10月の台風19号や2月以降の新型コロナウイルスの感染拡大により中止となるコンベンションも多く、前年度実績を大きく下回る開催件数となった。

<コンベンション開催実績>

	国内	国際	合計	対前年度比	
開催件数	154件	28件	182件	△68件	72.8%
参加人数	62,828人	28,385人	91,213人	△40,251人	69.4%

※スポーツ大会・競技会・コンクール等を含む

<コンベンション補助金交付実績>

	補助金交付	対前年度比	
申請件数	86件	△24件	78.2%
交付件数	64件	△29件	68.8%
交付額	28,772,039円	△5,712,109円	83.4%

※辞退22件、うち7件は台風及び新型コロナウイルスの影響による中止のための辞退

<経済波及効果調査に基づく参加者消費総額推計>

総参加者数	91,213人
1人あたりの平均消費単価	40,538円/人
直接消費経済効果	約37億円

(2) コンベンション開催準備資金貸付事業

2,000,000円

※Ⅱコンベンション事業の事業費に含まない

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、その円滑な運営と成功に寄与するため、開催準備に要する資金の貸付を行った。

- ・主催団体：ICFPE2020組織委員会
- ・学会名称：第11回フレキシブル・プリントド・エレクトロニクス国際会議
- ・会 期：令和2年10月27日～10月30日（令和3年度開催に延期予定）
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・貸付金額：2,000,000円

(3) コンベンションおもてなし助成金交付事業

1,889,435円

コンベンション開催時の伝統芸能アトラクションに対する助成及び、新潟市内のエキスカーションにおいてバス・水上バスを利用する場合に助成を行い、伝統芸能のPRと活用、市内観光の促進を図った。

また国外インセンティブツアー支援も行った。

・おもてなし助成金交付：15団体

(伝統芸能件13件、エキスカーション4件、地元物産品支援1件)

(4) コンベンション開催支援事業

3,925,111円

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、開催に必要な助言・サポート、及びコンGRESバッグなどの提供を行い開催を支援した。

また、県外からの参加者が500人以上のコンベンションに対し、新潟駅、新潟空港に歓迎看板を掲示するとともに、開催会場に「にいがた観光親善大使」を派遣し、歓迎挨拶や観光PRなどを行い参加者に対する歓迎機運の醸成を図った。

・歓迎看板設置件数：30件／にいがた観光親善大使派遣件数：7件

(5) その他

692,232円

<コンベンションボランティア派遣>

コンベンション開催時の受付や会場案内、クロークなど主催者の要望に応じてボランティアを派遣した。また、登録ボランティアの育成及び意見交換を兼ねた研修会を実施した。

・コンベンションボランティア派遣件数：5件／延べ20人

・コンベンションボランティア研修会

期 日：令和2年2月14日（金）

会 場：新潟市文化財 旧小澤家住宅

内 容：旧小澤家住宅学芸員による湊町・新潟の歴史・文化の説明と新潟の食体験及び意見交換

参加人数：コンベンションボランティア18名

<コンベンション開催予定表配布>

平成31年4月以降、及び令和元年10月以降に開催予定のコンベンションの予定表を年2回（4月・10月）作成し、賛助会員及び関係者に提供した。

<コンベンション経済効果調査>

コンベンション参加者及び主催者へ新潟での消費額に関するアンケート調査を実施し、コンベンション誘致による地元経済の波及効果を測定した。

- (1) 2019年度 人工知能学会全国大会
回答数：202人（参加者2,905人）
- (2) 第115回 日本精神神経学会学術総会
回答数：205人（参加者6,120人）
- (3) 第42回日本神経科学学会・第62回日本神経化学会大会合同大会
回答数：208人（参加者3,115人）
- (4) 第23回 日本看護管理学会学術集会
回答数：232人（参加者4,056人）
- (5) 第25回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
回答数：244人（参加者6,138人）

<参加者消費総額> （再掲）

令和元年度に開催された学会・大会・会議・競技会・コンクール
件数182件、総参加者91,213人

- ・直接消費経済効果：約37億円
- ・1人あたりの平均消費単価：40,538円/人

1 理事会

第1回通常理事会（決算）

- ・期 日：令和元年6月4日（火）
- ・会 場：ホテルイタリア軒

第2回通常理事会（予算）

- ・期 日：令和2年3月17日（火）

※書面によるみなし決議

2 評議員会

第1回評議員会（決算）

- ・期 日：令和元年6月20日（木）
- ・会 場：新潟グランドホテル

第2回評議員会（予算）

- ・期 日：令和2年3月24日（火）

※書面によるみなし決議

3 各団体加入負担

社団法人新潟県観光協会及び大都市観光協会連絡協議会、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会などに加入し、引き続き情報収集を行うとともに、連携して対外宣伝と誘客に努めた。

4 事務局管理費

公益財団法人会計を適正に執行するため、引き続き税理士法人さくら総合会計と予算の執行管理、及び予算・決算等の資料作成にかかる業務契約を締結した。

5 新規加入賛助会員 当初会員数 〈団体会員〉 293 社

新規入会

〈団体会員〉 4社

- ・ ツーリズムにいがた株式会社
- ・ 株式会社ケー・オー・ケー・ケー
- ・ 株式会社イタリア軒
- ・ 株式会社ホテルオークラ新潟

退 会

〈団体会員〉 7社

期末会員数

〈団体会員〉 290社